

# プログラム

A	URA 組織・人材・役割	E	専門業務	I	その他	R	国際専門委員会セッション
B	研究経営・戦略・IR	F	産官学金連携	K	スキルプログラム専門委員会セッション	O	口頭発表
C	プレアワード	G	国際	N	参加者ネットワークングセッション	Y	非営利団体セッション
D	ポストアワード	H	人材育成	S	執行部提案セッション	Z	企業セッション

1日目 9月3日(火)												
会場名	講堂	B201	B202	B101	B102	新C103	新C203	新C303	新C403	B棟ロビー		
9:00-10:00	受付										展示準備	
10:00-10:20	オープニング										ポスター／企業ブース展示	
10:20-10:30	休憩											
10:30-12:00	S-1 関係省庁セッション 我が国の研究力強化のために目指すべき方向性 All	/	/	/	B-1 URAによる研究力分析業務高度化に向けて Middle/Advance	Y-1 JST JREC-IN PortalでわかるURAの求人求職状況とresearchmap、J-GLOBALを用いたURAの業務支援 All	A-1 大学発ベンチャー創出におけるURAの機能 All	A-2 URAに必要な情報収集・分析能力 All	Y-2 ホライズン2020プログラムを用いた日欧共同研究プロジェクト：ケーススタディー All			
12:00-12:10	休憩											
12:10-13:10	/	Z-1 (ランチョン)カクタス・コミュニケーションズ All	/	Z-2 (ランチョン)エダナズグループジャパン All	/	/	/	/	/			
13:10-13:20	休憩											
13:20-14:50	S-2 大学執行部セッション URAが備えるべき能力とその認定制度について All	I-1 ハゲタカジャーナル-問題点・現状・対策 All	B-2 研究の発展につながる評価とは：「責任ある研究評価測定 (Responsible Metrics)」とURAにできること All	O-1 口頭発表 1	O-2 口頭発表 2	N-1 ネットワークしよう All	G-1 日本の大学・研究機関の国際化に向けたURAの役割 All	/	Y-3 民間助成金の獲得に向けてー助成金応募に際しての留意点など All			
14:50-15:50	休憩											ポスターコアタイム
15:50-17:20	/	Z-3 (賛助会員セッション)クラリベイト・アナリティクス All	A-3 URAのスキルアップ、ステップアップを考える Middle	O-3 口頭発表 3	O-4 口頭発表 4	N-2 プログラミングによるデータ分析の生産性向上ーCode for Research Administration All	R-1 世界のURA 達：Research Administration as a Profession (RAAAP) Survey All	F-1 研究力を伸ばす産学連携の新たな視点 All	C-1 日本の国際研究者メンバーのキャリア形成と外部資金の獲得支援メンタリングプログラム(個人指導プログラム)を通して Middle			
17:20-17:30	休憩											
17:30-18:00	総会											
18:30-20:30	情報交換会											

2日目 9月4日(水)											
会場名	講堂	B201	B202	B101	B102	新C103	新C203	新C303	新C403	B棟ロビー	
9:00-10:30	/	Z-4 (賛助会員セッション)エルゼビア・ジャパン All	A-4 URA活動の高度化を実現する戦略的活動アーカイブ Middle	D-1 ポストアワードが生み出すものとはー伴走型支援と研究力・産学連携強化 All	/	N-3 URA にとつてのPMとは All	R-2 INORMSの取組み：Research Evaluation Working Group All	K-1 プレアワード業務入門 Beginner	C-2 URAxマーケティング 新たな価値の創造に向けて All	ポスター／企業ブース展示	
10:30-10:40	休憩										
10:40-12:10	/	B-3 SDGsに大学はどう貢献していくか？ All	G-2 海外ファンド機関とのパートナーシップによる若手研究者の国際化支援 Middle/Advance	A-5 URAが生み出す価値とは All	H-1 URA人材育成の在り方ー多能工型育成プログラムを通じてー All	N-4 スキル認証の現状と方向性を考える All	R-3 アジアの胎動：Research Management and Administration All	K-2 研究力分析入門ー論文データと科研費データの分析 Beginner	F-2 研究を育てること Beginner		
12:10-12:20	休憩										
12:20-13:20	/	/	/	Z-5 (ランチョン)シュプリング・ネイチャー All	Z-6 (ランチョン)ジー・サーチ All	/	/	/	/		ポスターコアタイム
13:20-13:50	休憩										
13:50-15:20	/	F-3 超スマート社会(Society5.0)と地域創生、そして大学の役割 Middle/Advance	A-6 ポスト「研究大学強化促進事業」時代のURA組織運営 Middle/Advance	D-2 新たな学際研究を導くポストアワード力 All	A-7 URAの人的ネットワークから得られるものとは？ Beginner/Middle	N-5 URA間の情報共有を考える All	R-4 国際パネルディスカッション：INORMS 2020 Hiroshima へ向けて All	B-4 中の人語る、「学内ファンド運営」の理想と現実：研究開発評価の実装を目指して Middle	A-8 URAのための大学職員養成プログラムの役割 All		ポスター／企業ブース展示
15:30-16:00	クロージング										